

- 1 日時・場所 令和4年11月14日(月) 5校時 2年生教室
- 2 学級・人数 第2学年 7名(男子4名 女子3名)
- 3 単元名 学んだことを発信しよう ～プロモーション大作戦 アスパラ生クリーム大福発信中～
- 4 単元の構想

(1) 小中一貫教育目標と育成を目指す資質・能力

【布野中学校区小中一貫教育目標】

確かな学力をもち、夢や志に向けて主体的に活動する児童生徒の育成

【布野中学校区が育成を目指す資質・能力とその定義】

○生きて働く知識と技能

課題の解決に必要な知識及び技能を獲得し、課題に関わる概念を形成している。

○コミュニケーション能力

自分と他者の意見をつなげて考えたり、お互いの意見を調整したりすることができる。

○主体性

自分の良さや弱点を明らかにして、何を伸ばし、何を克服するのか判断し、見通しを立てて計画的に取り組もうとしている。

○自らへの自信

探究的な課題に協働的に取り組む中で、自己の特性に気付き、自分が社会にどのように関わっていききたいのかを考えようとしている。

(2) 生徒の実態

本学級生徒は、日頃からペアやグループ活動に積極的に取り組むことができる。また、与えられた課題に対し、仲間と協働しながら一生懸命に取り組むことができる。一方で、7月に実施した総合的な学習の時間に関する授業アンケートの結果では、「活動を通して自分の特性(得意なことや興味のあること等)を発見したいと考えている」という設問への肯定的回答が100%であったのに対し、「活動を通して自分の特性に気づいたとき、その特性をどのように日常生活や社会に役立てることができるかを考えようとしている」という設問への肯定的回答は71.4%に留まっていた。このことから、活動に対して一生懸命に取り組むものの、活動と自分との関わりについて深く考え、それを自分の生き方にまでつなげて考えていこうとする態度にまでは高まっていないという実態が明らかになった。

(3) PBL(プロジェクト型学習)の考え方を取り入れた探究的な課題

○課題の内容

生徒たちは中学校第1学年次に、布野の魅力をPRするために「アスパラ生クリーム大福」を三次市の渡辺精進堂と共同開発している。

本単元では、「アスパラ生クリーム大福」を多くの人に手に取ってもらい、布野の魅力を知ってもらう

ことを目標にプロモーション方法を考え、その成果物を宣伝する活動を行う。活動にあたっては、プロジェクト型学習（PBL）の考え方を取り入れて生徒たちが自ら課題を見出し、見通しを立てて判断し、課題解決に取り組む授業を展開する。この活動を通して、本学級の生徒の課題である自分と実社会との関わりについて考え、自分の生き方を考えようとする態度を身に付けさせるとともに、布野中学校区が育成を目指す資質・能力の向上につなげていきたい。

○発表方法

- ・プロジェクト名「プロモーション大作戦 ～アスパラ生クリーム大福発信中～（仮）」
令和4年10月23日（日） 文化祭のステージ発表でプロモーション活動を発表し、評価して貰う。
令和4年10月30日（日） 文化祭での評価からプロモーション活動の内容を改善し、布野ふるさと祭りでアスパラ生クリーム大福のプロモーション活動と販売を行う。
- ・プロジェクト名「プロモーション大作戦 ～（副題は布野ふるさと祭り後に考案）～」
令和4年11月22日（火） 広島市内でアスパラ生クリーム大福のプロモーション活動と販売を行う。

（4）単元を構成する問い

- ①本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）
私たちは将来に渡って、社会とどのように関わっていけばよいのだろうか。
- ②単元を貫く問い（単元を通して考え深めていく「問い」）
どのようなプロモーション活動をすれば、多くの人にアスパラ生クリーム大福を購入して、布野のことを知ってもらえるのだろうか。
- ③個別の問い（単元を構成する授業内で身につける知識・技能等）
 - ・渡邊精進堂の渡辺社長からのミッションは何だろう。（第1時）
 - ・自分たちにできるプロモーション活動は何があるだろう。（第2時）
 - ・京都で見つけたプロモーション方法を交流しよう。（第3時）
 - ・京都から学んだプロモーション方法以外にはどんな方法があるのだろうか。（第4～5時）
 - ・自分たちにできるプロモーション活動は何があるだろう。（第4～5時）
 - ・どのようなプロの人からプロモーション方法を学ぶことが必要だろうか。（第6時）
 - ・プロの人に聞いてみたいことを考えよう。（第7～8時）
 - ・自分たちにはどんなプロモーション活動ができるのだろうか。（第9～11時）
 - ・文化祭でアスパラ生クリーム大福を知ってもらうためにできる最適なプロモーション活動とはどんな内容だろう。（第12～15時）
 - ・布野町ふるさと祭りでアスパラ生クリーム大福を販売するためにできる最適なプロモーション活動とはどんな内容だろう。（第16～17時）
 - ・これまでのプロモーション活動の良かった点と改善するべき点は何だろう。（第18時）
 - ・布野を知らない人たちにアスパラ生クリーム大福を手にとってもらうためのプロモーション活動を行うためには、プロの人にどんなことを聞けば良いだろう。（第19～20時）
 - ・布野を知らない人たちにアスパラ生クリーム大福を手にとってもらうために最適なプロモーション活動とはどんな内容だろう。（第21～25時）

5 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

プロモーションの方法を調べたり、地域や社会で活躍する人たちと協働したりしながらプロモーション活動を考案・実行していく活動を通して、目的や状況に応じた効果的なプロモーションの方法について理解し、多くの人にアスパラ生クリーム大福を購入してもらうためのプロモーション活動を考え実行していくとともに、地域や社会に自分ができることを考え、行動できるようにする。

(2) 単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
①プロモーションについて、プロモーションには様々な種類があることや、場所や状況等によって効果的なプロモーション活動が決まることなどを理解している。	①プロモーション活動を行う上で必要となる情報は何かを考え、どのように情報を得たり、プロモーション活動を準備したりしていくか見通しを立てている。	①プロモーション活動に向けて取り組む中で、自分の特徴やよさに気づき、探究活動に進んで取り組もうとしている。
②プロモーション活動のために行ったインタビューやアンケート等で得た情報を、目的に応じて分類して表などに整理している。	②プロモーション活動を行う上で必要となる情報を、効率性や信頼性等をふまえた方法で収集している。	②よりよいプロモーション活動の実現に向けて、自他の意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとしている。
③効果的なプロモーション活動について探究することで、情報を発信するときは、聴き手の立場や心情をふまえた上で表現方法を工夫することが重要であることを理解している。	③プロモーション活動に向けて、収集した情報を目的に応じて整理し、効果的なプロモーション活動のために必要な要素を見出している。	③プロモーション活動の実施に向けて地域と関わっていく中で、自分と社会の繋がりについて考え、自分にできることを見付けようとしている。
	④プロモーション活動に必要な要素をふまえ、相手や目的に応じたプロモーション活動を行っている。	

6 本単元で布野中学校区が育成を目指す資質・能力の定義と評価規準

(1) 本単元で布野中学校区が育成を目指す資質・能力の定義

○生きて働く知識と技能

プロモーション活動に向けて必要な情報を得て、収集した情報を整理・分析して目的につなげるための技能を身に付けることで、地域の魅力をプロモーションするための概念を形成する。

○コミュニケーション能力

話し合いを通してプロモーション活動についての自分たちの考えを見直したり、新たな視点をもったりすることができる。

○主体性

プロモーション活動をするために、自分に取り組むべきことを明らかにし、見通しを持って取り組みを進めようとする。

○自らへの自信

プロモーション活動に取り組む中で、自分たちの考えが実際に形になっていくことを実感し、自分

の特性をどのように地域に役立てることができるのかを考えようとする。

(2) 本単元で布野中学校区が育成を目指す資質・能力の評価規準

育成を目指す 資質・能力	布野中学校区が育成を 目指す資質・能力	評価規準
知識及び技能	生きて働く知識と技能	プロモーション活動に向けて必要な情報を得て、収集した情報を整理・分析して目的につなげる技能を身に付けることで、地域の魅力をプロモーションするための概念を形成している。
思考力、判断力、表現力等	コミュニケーション能力	プロモーション活動に向けて、人から聞き取った情報などをもとに話し合い、自分たちの考えを見直したり、新たな視点をもったりすることができている。
学びに向かう力、人間性等	主体性	プロモーション活動の成功に向けて、学習するべき内容を自ら考え行動しようとしている。
	自らへの自信	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 自らへの自信は、「学びに向かう力、人間性等」の「観点別学習状況の評価や評定にはなじまず、個人内評価を通じて見取る部分」に対応した資質・能力であるため、一律の評価規準を設けず、子どもたち一人一人のよい点や可能性、進歩の状況を見取って、それを価値付けていく。 </div>

7 本単元のパフォーマンス課題(探究課題)とそのルーブリック

(1) 本単元のパフォーマンス課題(探究課題)

多くの人にアスパラ生クリーム大福を手に取り布野の魅力を知ってもらうことを目標に、必要な情報は何かを考え調査・分析を行い、得られた情報をふまえて効果的なプロモーション活動を行う。

(2) ルーブリック

	A	B	C
生きて働く知識と技能	プロモーション活動をするために必要な知識及び技能を獲得し、実生活や実社会に関わる概念を形成している。	プロモーション活動をするために必要な知識及び技能を獲得し、地域の名産品をプロモーションするために必要な概念を形成している。	プロモーション活動をするために必要な知識及び技能を獲得している。
コミュニケーション能力	話し合いを通してプロモーション活動についての考えを発展・深化させ、合意点を見出すことができている。	話し合いを通してプロモーション活動についての自分たちの考えを見直したり、新たな視点をもったりすることができている。	他者の考えを聞いて、プロモーション活動についての自分の考えに活かすことができている。
主体性	プロモーション活動をするために、自分が取り組むべきことを明らかにし、必要に応じて活動計画	プロモーション活動をするために、自分たちが取り組むべきことを明らかにし、見通しを立てて取	プロモーション活動をするために、自分たちに与えられた指示を果たそうとしている。

	を見直し、修正を加えながら取り組みを進めようとしている。	り組みを進めようとしている。	
自らへの自信	<p>自らへの自信は、「学びに向かう力、人間性等」の「観点別学習状況の評価や評定にはなじまず、個人内評価を通じて見取る部分」に対応した資質・能力であるため、ルーブリック評価による一律な評価は行わず、子どもたち一人一人のよい点や可能性、進歩の状況を見取って、それを価値付けていく。</p>		

8 指導と評価の計画（全 25 時間）

※探究活動にある「生」は生きて働く知識と技能、「コ」はコミュニケーション能力、「主」は主体性、「自」は自らへの自信を表しており、生徒たちがその探究の過程を遂行していく際に、主に見取っていく布野中学校区が育成を目指す資質・能力を表している。

時数	探究活動	生徒が探究する問い ※「・」は予想される生徒の考え	評価項目
1	<p>【課題設定】（コ・主） 「アスパラ生クリーム大福の PR 方法を考える」 ※渡邊精進堂の社長の思いを聞いて、自分たちにできることは何かを考えさせる。</p>	<p>本質的な問い ○私たちは将来に渡って、社会とどのように関わっていけばよいのだろうか。 ・地域の行事に参加する。 ・近所の人にあいさつするなど、積極的に交流する。 ・地域を活性化させるために、地域の魅力を SNS などで PR する。 ・社会の一員として一生懸命働く。 ・どうすればよい世の中になるのかを考えて実行する。</p> <p>単元を貫く問い ○どのようなプロモーション活動をすれば、多くの人にアスパラ生クリーム大福を購入して、布野のことを知ってもらえるのだろうか。</p> <p>個別の問い ○渡邊精進堂の渡邊社長からのミッションは何だろう。 ・アスパラ生クリーム大福を沢山売るための方法を考えて欲しい。 ・アスパラ生クリーム大福を使って、三次の PR をして欲しい。</p>	思①
2	<p>【情報の収集】（生） 商品プロモーションの方法について調べる。</p>	<p>個別の問い ○自分たちにできるプロモーション活動は何があるだろう。 ・お店にポップを作る。 ・パンフレットを作る。 ・動画を作成する。 ・布野町の魅力が伝わるような工夫をする。 ・販売をするターゲットを決めて、ターゲットにあったプロモー</p>	知①

		ションを考える。	
3	<p>【情報の整理・分析】 (生・コ) 京都で発見したプロモーション方法を交流する。 ※京都で行われているプロモーション方法について、修学旅行中に現地調査を行い、情報を収集させる。</p>	<p>個別の問い ○京都で見つけたプロモーション方法を交流しよう。 ・京都をモチーフにした和柄が使われていた。 ・京都弁を使っていた。 ・目を引くようなポップがあった。 ・日本語だけではなく英語や中国語などの表記があった。 ・InstagramなどのSNSを使って紹介をしていた。 ・Web 広告などを活用していた。 ・試食があった。 ・パンフレットがあった。 ・動画で商品紹介をしていた。</p>	知②
4 5	<p>【情報の収集】(コ) インターネットや本などを活用し、プロモーション方法にはどんな種類があるのかを調べる。</p> <p>【情報の整理・分析】 (主) これまでに調べたプロモーション方法を参考に、自分たちのプロモーション方法を考えていくために必要なことは何かを考える。</p>	<p>個別の問い ○京都から学んだプロモーション方法以外にはどんな方法があるのだろうか。 ・SNS のアカウントを開設し、SNS を使って世界に情報発信をする。 ・テレビ局の人に取材に来てもらい商品を紹介する。 ・商品についてのCMや動画を作り流してもらう。 ・ラジオで宣伝をする。 ・雑誌に取り上げてもらう。</p> <p>個別の問い ○プロモーション活動を考えるときに、どんなことが必要だろう。 ・ターゲットを誰にするのかを考える。 ・プロモーション活動に活用できるものはどんなものがあるのかを確認する。 ・どんな方法でプロモーション内容を発信していくかを考える。 ・プロモーション活動のために大切なことは何かをプロの人に教えてもらう。</p>	<p>知① 思②</p> <p>主②</p>
6	<p>【情報の整理・分析】 (主) 商品プロモーションについて、どんな人に教えて貰うことが効果的かを考える。</p>	<p>個別の問い ○どのようなプロの人からプロモーション方法を学ぶことが必要だろうか。 ・テレビ局の人。 ・CMディレクター。 ・広告ディレクター。 ・動画クリエイター。 ・インフルエンサー。 ・ラジオ局の人。</p>	主②

		・イラストレーターやデザイナー。	
7 8	【情報の収集】(コ・生) プロモーション活動のためにプロの人に質問する内容を考える。 ※第7時に質問内容を考え、第8時にプロの人に質問を行う。	個別の問い ○プロの人に聞いてみたいことを考えよう。 ・どのように制作をしていますか。 ・制作をするときに心がけていることは何ですか。 ・中学生でも挑戦できそうなプロモーション方法がありますか。 ・ターゲットはどんなことをもとに決めていますか。	思② 知①
9 11	【情報の整理・分析】(知・主) 収集した情報をもとに、自分たちができるプロモーション活動について考える。 【まとめ・表現】(コ) 考えたプロモーション活動を行うために必要なものを作成する。	個別の問い ○自分たちにはどんなプロモーション活動ができるのだろうか。 ・動画を作成する。 →商品ができるまでの道のりを紹介する動画を作成する。 ・ポスターやチラシを作成する。 →商品を購入したくなるようなデザインを考えて作成する。 ・ポップを作成する。 →商品を手に取りたくなるようなデザインを考えて作成する。 ・SNS を開設する。 →多くの人に見てもらえるように、日本語と英語でこれまでの取り組みについて紹介する文章を考えて SNS を開設する。	知② 思③ 主① 思④
12 15	【まとめ・表現】・【情報の収集】(生・自・コ・主) [中間報告] 文化祭で商品化までどのような取り組みを行ってきたのかをふまえて自分たちが考えたプロモーション活動を発表し、来場者の人たちから評価して貰う。	個別の問い ○文化祭でアスパラ生クリーム大福を知ってもらうためにできる最適なプロモーション活動とはどんな内容だろう。 ・プレゼンを通してこれまでの取り組みを知ってもらう。 ・アスパラ生クリーム大福を試食してもらう。 ・会場にアスパラ生クリーム大福の販売ブースを作る。 ・プロモーション活動を見て貰った感想を知るためにアンケート調査を行う。 →「アスパラ生クリーム大福の魅力が伝わったか」、「買って食べてみたくなったか」等を聞きたい。	知③ 主② 思④
16	【情報の整理・分析】(知・主)	個別の問い ○布野ふるさと祭りでアスパラ生クリーム大福を販売するためにで	思③

17	<p>文化祭で感じたことや貰った感想を分析し、現時点でのプロモーション活動の良い点と課題を明らかにする。</p> <p>【まとめ・表現】・【情報の収集】(コ・自)</p> <p>布野ふるさと祭りで自分たちが考えたプロモーション活動を発表し、来場者の人たちから評価して貰う。</p>	<p>きる最適なプロモーション活動とはどんな内容だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭のときと違いお客さんは動いているので、呼び込みを行う。 ・アスパラ生クリーム大福を試食してもらう。 ・アスパラ生クリーム大福を販売ブースで売るだけではなく、かごに入れて売り歩く。 ・司会者をお願いして、ステージのイベントの合間にアスパラ生クリーム大福を買ってくれるように呼びかけさせて貰う。 ・自分たちの考えたプロモーション活動を見てくれた人にアンケート調査を行う。 <p>→アスパラ生クリーム大福の魅力が伝わったかどうかや、買って食べてみたくなったかどうかを聞きたい。</p>	<p>知③ 主③</p>
18	<p>【課題の設定】・【情報の整理・分析】(コ・主)</p> <p>11月の広島市でのプロモーション活動や販売に向けて、布野ふるさと祭りで感じたことや貰った感想を分析し、現時点でのプロモーション活動について良い点と課題を明らかにする。</p>	<p>個別の問い</p> <p>○これまでのプロモーション活動の良かった点と改善すべき点は何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に手に取りたくなるようなポップがあって良かった。 ・写真を使ったことで、一目で分かって貰うことができた。 ・商品の説明が分かりやすくて良かった。 ・勇気を出して、自分からお客さんに声をかけたりチラシを渡したりすることができた。 ・ほとんどの人は立ち止まって説明を聞いてくれなかった。 ・歩いている人にも聞いて貰えるように、説明は短い方が良かった。 ・もっと自分からお客さんに声をかければ良かった。 ・興味をもってくれる人は多かったが、なかなか買って手に取っては貰えなかった。 ・お客さんに高齢の人が多かったので、幅広い世代の人に購入してもらうためにはSNS以外の方法が良い。 	<p>思① 思③</p>
19 20	<p>【情報の収集】(知・主・コ)</p> <p>より良いプロモーション活動のためにプロの人に質問する内容を考える。</p> <p>※第19時に質問内容を考え、第20時にプロの人に質問を行う。</p>	<p>個別の問い</p> <p>○布野を知らない人たちにアスパラ生クリーム大福を手にとってももらうためのプロモーション活動を行うためには、プロの人にどんなことを聞けば良いだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布野のことを知らない人に興味をもって貰うにはどんな方法がありますか。 ・目立つためには今のポップをどのように改善すれば良いですか。 ・歩いている人に立ち止まって貰うにはどんな呼びかけ方をすれば良いですか。 ・商品説明の時間はどの位が良いのですか。 	<p>知③ 主①</p>
21	<p>【整理・分析】・【まと</p>	<p>個別の問い 【本時 21 時】</p>	

<p>5 25</p>	<p>め・表現】(主・コ) プロの人からのアドバイスや、これまでのアンケート調査等を参考に自分たちが考えたプロモーション活動を改善する。</p> <p>【まとめ・表現】(コ・自) 広島市で、改善したプロモーション活動を発表する。</p>	<p>○布野を知らない人たちにアスパラ生クリーム大福を手にとってももらうために最適なプロモーション活動とはどんな内容だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布野町は三次市にあってアスパラガスが有名であることを知って貰う。 ・渡邊精進堂と布野中学校の共同開発の商品であることをアピールする。 ・アスパラ生クリーム大福を紹介されたときの新聞記事をコピーして配る。 ・歩いている人にも分かるように説明を短くする。 ・大きな写真を使って、一目で分かって貰う。 ・勇気を出して、自分から歩いている人に声をかける。 ・アスパラ生クリーム大福を試食してもらう。 ・アスパラ生クリーム大福を販売ブースで売るだけではなく、かごに入れて売り歩く。 <p>単元を貫く問い</p> <p>○どのようなプロモーション活動をすれば、多くの人にアスパラ生クリーム大福を購入して、布野のことを知ってもらえるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の頃は、アスパラ生クリーム大福を買ってもらうためのプロモーションばかり考えていたが、購入者の意見を聞いていく内に、布野のことを知ってもらうためには、買ってくれた人に向けたプロモーションも必要であると分かった。 ・プロモーションの制作には、自分の伝えたい情報だけでなくお客さんが知りたい情報は何かを考えることが大切だとわかった。また、実際にプロモーション活動を行ってみて、お客さんとコミュニケーションをとりながら進めると良いと感じた。相手意識を持つことやコミュニケーションを大切にすることは、何においても大切なことだと思った。 	<p>主② 思③ 思④</p> <p>知③ 主③</p>
-----------------	--	--	--

9 本時の展開

※第9時の時点で生徒たちが考えているプロモーション活動は、「動画作成」「ポスターやポップ」「移動販売」であるため、本時はこれらのプロモーション活動を改善しようとしていると仮定している。生徒たちの考えるプロモーション活動が別のものになった場合、その考えに沿うよう、本時の展開に修正を加える。

(1) 本時の目標 【第21時】

集めていた情報（これまでプロモーション活動を行う中で自分たちが感じたこと、プロの人からのアドバイス、文化祭や布野ふるさと祭りで行ったアンケート調査結果等）をもとに、プロモー

ション活動について改善案を交流する活動を通して、自分の考えていた改善案を見直したり、新たな改善案を見出したりする。

(2) 評価規準とルーブリック

○評価規準

他者から貰った意見を参考に、集めていた情報と自分が考えていたプロモーション活動の改善案を照らし合わせ、自分の考えていた改善案を見直したり、新たな改善案を見出したりしている。

(コミュニケーション能力)

○ルーブリック

A	他者から貰った意見について、根拠となっている資料や現象に目を向けながらその意見の妥当性について考慮しつつ、集めていた情報と自分が考えていたプロモーション活動の改善案を照らし合わせ、自分の考えていた改善案を見直したり、新たな改善案を見出したりしている。
B	他者からもらった意見を参考に、集めていた情報と自分が考えていたプロモーション活動の改善案を照らし合わせ、自分の考えていた改善案を見直したり、新たな改善案を見出したりしている。
C	他者からもらった意見を参考に、自分が考えていたプロモーション活動の改善案を変更している。

(3) 準備物

生徒用 iPad, 電子黒板, ワークシート

(4) 展開 【第21時】

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
	予想される生徒の発言		
導入	(I) 単元を貫く課題を確認する。	○単元を貫く課題を意識させる。	
	単元を貫く課題： どのようなプロモーション活動をすれば、多くの人にアスパラ生クリーム大福を購入して、布野のことを知ってもらえるのだろうか。		
展開	(II) 本時の目標を確認する。	○本時の目標を提示する。	
	本時の目標： これまでに集めた情報をもとに、プロモーション活動の改善案を考えよう。 ※これまでに集めた情報とは、プロモーション活動を行う中で自分たちが感じたこと、プロの人からのアドバイス、文化祭や布野ふるさと祭りで行ったアンケート調査結果等を指す。		
	(III) 集めていた情報をもとに自分たちの考えたプロモーション活動の改善案を考える。	○集めていた情報を自分たちが考えたプロモーション活動に照らし合わせ、改善すべき点を見つけさせる。	

※この先出てくる自分たちがやってみた感想・アドバイス・アンケートの結果は事前に予想したものであるため、実際の内容とは異なる可能性がある。

- ・布野ふるさと祭りで立ち止まって話を聞いてくれる人が少なかったので、一目で分かるように大きな写真を印刷して手に持った方が良い。
- ・プロの人からターゲット層を考えると良いというアドバイスがあった。大福は高齢の方に人気だと思うので、分かりやすい言葉を使いたい。
- ・「情報がたくさんありすぎて分かりにくい」という意見があったので、本当に伝えたい情報かどうかをよく考えて情報を減らす。

(IV) 改善案を交流し、より良い改善案になるように意見を出し合う。

○それぞれが得た情報や気づきを交流させることで、情報を共有させる。

思③
主②

・プロの人が「自分が伝えたい情報とお客さんが知りたい情報は違う」と言っていた。お客さんの立場から知りたい情報は何かを考えるといいと思う。

・文化祭のアンケートでは、「動画で紹介をするとこれまでの取り組みや商品のことについて分かりやすい」という意見があった。チラシやポスターにQRコードをつけて、これまでの取り組みや商品の詳しい説明を動画で見て貰えるようにしたら良いと思う。

・ターゲット層は高齢の方だと思っていたが、布野ふるさと祭りでは色々な年代の人がアスパラ生クリーム大福を買ってくれた。ターゲット層の考え方について、プロの人にもお願いしてもう一度アドバイスを貰えないだろうか。

(V) 意見交流をもとに、自分の考えた改善案を見直す。

○意見や質問を基に、もう一度自分の考えたプロモーションと集めていた情報を照らし合わせる。

・伝えたい大切な情報だけに絞れば良いと考えていたけれど、「お客さんが知りたい情報は何か」という視点から情報を絞った方が良いという意見があったので、もう一度考え直してみたい。

・写真さえあれば商品のイメージをもって貰えると考えていたけれど、買う人の立場に立ったら、口コミ情報のように、食べた人の感想なども載せると効果的なのだと分かった。

・ターゲット層を考えるときに年齢のことだけ考えていたけど少し違うかなと思った。アスパラを使っているということを魅力に感じているのは健康を気にしている人かもしれない。そんな人をターゲットにして、動画にアスパラの栄養なども入れたい。

○他者から貰った意見を参考に、集めていた情報と自分が考えていたプロモーション活動の改善案を照らし合わせ、自分の考えていた改善案を見直したり、新たな改善案を見出したりしている。【コミュニケーション能力】(ワーク

			シート, 行動観察)
ま と め	(VI) 本時の振り返りを行う。	○本時の振り返りを記述させる。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい情報に絞って, 説明を分かりやすくしようと考えていたが, 交流の時に意見を貰って, 「お客さんが知りたい情報は何か」という視点で情報を絞っていこうと思った。 ・ターゲット層を年配の方に絞ってプロモーションを見直そうと思ったが, 意見交流をしてみて, アスパラ生クリーム大福に興味をもってくれる人はどのような人かをこれまでのアンケートを見直したりしてもう一度考えてみたいと思った。 		
	(VII) 次時の学習内容を計画する。	○各自で次時の学習内容を計画させる。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・今回考えた改善案を基に, プロモーション活動を修正していく。 ・今日の考え方で本当に良いのかどうか, アンケート結果を見直して確認する。 ・プロの人に, また質問に答えて貰えないかお願いする。良いと言って貰えたら, そのとき質問したい内容を整理する。 		

(5) 板書計画

単元を貫く問い どのようなプロモーション活動をすれば, 多くの人にアスパラ生クリーム大福を購入して, 布野のことを知ってもらえるのだろうか。

本時のねらい これまでに集めた情報をもとに, プロモーション活動の改善案を考えよう。

話し手としてのポイント

★理由を明確にして

★これまでの学習で考えてきたことと関連させて

聞き手としてのポイント

★話し手の考えの意味や原因をうかがいながら, 互いにわかりあうまで聞き合う

「どういうこと?」 「どういう意味?」 <small>(意味を問う)</small>	「例えば?」 <small>(例を問う)</small>	「例えば・・・ みたいなこと?」 <small>(イメージを問う)</small>
「もう少し簡単な言葉で 詳しく教えて」 <small>(具体・言い換えを問う)</small>	「要するに・・・ ってこと?」 <small>(要約や解釈の正しさを問う)</small>	
「なぜ?」 「どこから・・・ 考えたの?」 <small>(根拠を問う)</small>	「もう一度 教えてくれる?」 <small>(聞こうとする姿勢を示す)</small>	

実践記録

当初、単元の流れは、以下のように想定していた。

- ① 布野をPRするために、アスパラ生クリーム大福を買ってくれた人に渡すためのチラシを作る。
- ② 宣伝のためには沢山売れないといけないので、アスパラ生クリーム大福を沢山売るためのチラシ・pop・動画を作る。
- ③ 自分たちの手で売りたいと考える生徒たちに、布野ふるさと祭り(難しければ道の駅)での販売をすることを伝える。生徒たちは、販売当日に向けて、チラシやpopを作る。
- ④ 布野ふるさと祭りでの反省から販売プロモーションを修正する。その後、布野町ではない別の場所で販売活動を行う。

ある程度、想定通りに単元は進んでいった。しかし、7月に実施した授業アンケートで、「活動を通して自分の特性に気づいたとき、その特性をどのように日常生活や社会に役立てることができるかを考えようとしている」という設問への肯定的回答が71.4%に留まっていることが分かった。手立てとして、自分たちが行っている学習は社会と繋がっているものであることを意識するきっかけとなることを狙い、地域の人や専門家に自分たちが考えたプロモーションを披露して評価していただく活動を取り入れることにした。幸いなことに、展開③のときに生徒から「(プロモーションの)プロの人にアドバイスして欲しい」という意見が出たため、広告代理店の方にゲストティーチャーになっていただき、いただいたアドバイスを参考にしながら、生徒たちは自分たちの販売プロモーションを修正していった。布野ふるさと祭りでは用意しておいた100個に加えて、急遽追加した20個も完売という結果を出した生徒たちは、自分たちの販売プロモーションは実際に効果的なものであったと手応えを感じていた。

展開④では、ひろしま夢ぷらざでの販売に向けて、展開③でお世話になった広告代理店の方にアドバイスをもらい販売プロモーションを広島市内に合うように修正していった。広告代理店の方との交流では、前回、「どうすれば良くなりますか」と聞いていた生徒が、「人通りが多いところでプロモーションをするときに重要なことは何ですか」と視点をもった具体的な質問をしており、主体性の高まりを見取ることができた。

ひろしま夢ぷらざで、2時間で60個完売という結果を出した生徒たちは、より大規模な場所や県外での販売プロモーションを行いたいと考えていた。更に探究を深めようとするのは良いが、沢山販売するのは、布野をPRするための手段であって目的ではない。そこで、そもそもの目的をふまえて、これまでのプロモーション活動を振り返らせたところ、生徒から「沢山売れたけど、布野を知ってもらえていない」という発言が出てきて、次の探究テーマ(問い)は、「アスパラ生クリーム大福を購入した人に、布野のことを知ってもらうにはどうすればよいだろうか」となった。

生徒のアスパラ生クリーム大福への愛情や情熱は単元開始前よりもむしろ高まっている。生徒たちにとって意義深い教材であることから、今後もアスパラ生クリーム大福を題材とした探究を続けていく予定である。